

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域話題をお届けしています
広報広聴課 ☎55-2700へご連絡ください

新しい岳南鉄道が出発進行!!

まちかど ネットワーク 通信

市民の生活の足として活躍する岳南鉄道。このほど、より利用しやすい鉄道を目指し、神谷駅の改修と新型車両を導入しました。この話題を、まちかどネットワークの石原さん親子(松岡)に取材してもらいました。



石原聡美さん・賢太郎君(6歳)と、今回説明をしてくださった岳南鉄道株式会社の相澤さん(右)



神谷駅に新しく設置されたスロップと点字ブロック

神谷駅がリニューアル
石原 久しぶりに神谷駅を訪れたのですが、今回どのように変わったのですか。
相澤 神谷駅は、お年寄りや幼稚園へ通園する親子が多く利用します。今までは電車のステップとホームの段差が大きく、おりづらい状況でした。そのためホームの高さを調整し段差を解消しました。また、スロップや点字ブロックを設置し、だれでも利用しやすいようにユニバーサルデザイン化を図りました。
石原 駅前の花壇もきれいですね。

新型車両は
相澤 地元の花の会の皆さんが一生懸命に手入れをしてくれています。沿線の皆さんの協力が運営の支えになっています。
石原 新しい車両には愛称がついているのですか。
相澤 公募により愛称を「がくちゃんかぐや富士」としました。子どもたちからは、「がくちゃん」のほか、「がっちゃん」など岳南鉄道の「がく」をもじった愛称が、大人からは、沿線のかぐや姫伝説にちなんだ愛称が多く寄せられました。親しみや

十二月から運行

すく、地域性を生かすために、それぞれの特徴をあわせたこの名前に決定しました。
石原 車両の色も変わりましたね。新しい車両の特徴を教えてください。
相澤 愛称にちなみ竹をイメージした明るい緑色にしました。車両はゆったりと利用できるよう二両編成とし、車内スペースや次の停車駅名のわかる電光掲示板を設けました。新しい車両は十二月から営業運転を始めます。車内放送では観光案内も流す予定です。
石原 新しい電車を迎え、今後どのような鉄道にしていきたいとお考えですか。



ゆったりとした車内(1両の定員132人)と車いす用スペース(左)



11月16日に行われた新型車両の出発式
新型車両は京王電鉄井の頭線で使われていたものを改装しました

取材を終えて...

高齢者への対応など、これからの時代を考えた運営に心がけていることが伝わってきました。富士山のふもとを走る特徴を生かし、観光面でもさらに活用していけるのではないのでしょうか。これからも地元密着した「岳鉄」として頑張ってくださいね。私も応援したいと思います。

相澤 乗客数は年々減っていて採算割れの状況が続いています。多くの皆さんから利用される鉄道を目指し、サービスの向上に努めたいと思います。ぜひ多くの皆さんに乗っていただき、また、地域のお祭りや行事などをPRする空間として新しい車両を活用してほしいですね。